

東里地区地域ミーティング  
(通算第63回)

開催日	平成26年7月14日(月)
開催時間	午後7時30分～午後9時
会場	興東公民館 東里分館
参加者	29名



地 域 課 題	市 の 回 答
1. 「東部地域の農村資源を活かした経済活性化」の全体イメージについて	1. 農業分野について、生産から加工・販売までを見据えた農業の六次産業化が必要。農産物の直売所は農産物の販路拡大に繋がる。また、東部地域を体験型の観光やアウトドアツーリズムなど、地域資源等連動する観光資源として経済の活性化を検討していきたい。
2. 東里地区における地域おこし協力隊の活動について	2. 総務省の制度で、地域コミュニティー、祭りの手伝い、伝統芸能・盆踊り等の復活や地域ブランドの地産地消の開発に携わってもらう制度。東里地区の課題として、農村資源の活用、鳥獣害対策、高齢者世帯の交通手段等の改善について、解決策等を見つけられるよう取り組んでいきたい。
3. 東部地域で実施されたアンケート調査に基づく、地域住民の意見を反映させた東里地区の活性化の取り組みについて	3. アンケート調査結果は、地区内での就職や買い物、診療が困難、日常生活が不便との意見であった。行政への期待は、「市街地へのアクセス道路の改良」「診療所医療機関サービスの充実」が意見として多数。市も限られた財源の中、話し合いをしたい。
4. 有害獣の急増に対する被害対応策の拡充について	4. 電気柵を設置するモデル事業を実施し、サル被害の軽減度合いの把握や問題点の洗い出し、検証を行い新たな設置個所の検討を行っていきたい。
5. 高齢者世帯に対する通院や買い物の交通手段の改善について	5. 福祉サービスの面：行政だけのサービスではなく、民間企業や、ボランティアなど多様な主体が細やかなサービスができるような体制作りが必要だと考える。

<p>6. 在宅診療サービスの充実について</p> <p>7. 田原・柳生・興東中学校区の全体計画の見直しについて</p> <p>8. 旧興東中学校校舎及び校地の後活用について</p> <p>9. 県庁東交差点からクリーンセンター建設予定地までの四車線化について</p> <p>10. クリーンセンター移設による自然環境の悪化について</p>	<p>交通手段の改善：奈良県地域交通改善協議会と連携してバス路線の縮小、廃止に歯止めがかけられるよう検討していきたい。コミュニティバス方式も念頭に置いて計画をしていきたい。</p> <p>買い物に不便を感じている方への対策：調査した結果、東部では都祁地域の四店舗しか掴むことができなかった。民間事業者による移動販売サービス等の事業展開に期待している。</p> <p>6. 市は施設型の医療や介護から在宅型に方針転換をしている。最後まで尊厳をもって暮らせるために訪問看護、訪問介護制度の充実が重要と考える。</p> <p>7. 三つの中学校区の統合再編を考えていたが、柳生・興東中学校区で一つの中学校と二つの小学校を残す方向で考えている。</p> <p>8. 体育館は、耐震補強を施してあるので避難所として活用する。</p> <p>9. 四車線化は無理としても道路を拡幅、歩道の設置、生活道路の機能が果たせるよう県に協力要請している。</p> <p>10. 公害等、排ガスが出ない、水も川に流さないフロントシステムの施設ができています。こういった施設がよいか勉強し、取り組んでいく。</p>
---	--